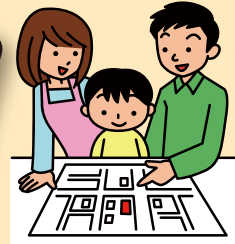


防+災

誰にでも起こりうる!

災害に備えよう!



避難場所
避難経路を確認

地震や津波・豪雨などの自然災害は、いつどこで発生するかわかりません。

家庭や地域、職場などで日頃から避難経路の確認や災害時用品の準備、家具等の転倒防止などを行いましょう。

非常時持ち出し品チェック

- 懐中電灯と予備電池
- ローソク・マッチ
- 救急箱や薬
- 小児に必要なもの
- 火や水の要らない食料 (3日分)
- 市販の飲料水 (3日分)
- 携帯ラジオと予備電池
- 現金・貴重品・パスポート
- ヘルメット
- タオル
- 下着・くつ下



せっかく揃えた持ち出し品も定期的に点検しないと使用できない場合があります。

電池や缶詰などの賞味期限を半年に一度は点検しましょう。

(台風について)

今年は、沖縄本島地方に襲来する台風が大型化し、特に台風第17号(平成24年9月現在)では、市内においても、トタン屋根、窓ガラス、看板、車両等の損壊、倒木などの被害が発生しました。各家庭においても家の周囲をチェックして、テレビのアンテナの緩みや屋根瓦、トタンがめくれたりしていないか、また、風で飛ばされそうなもの(植木鉢や看板等)がないか確認することが大切です。



9月12日(水)、キャンプロオスターにおいて米海兵隊による津波避難訓練が行われ、宜野湾市と北谷町の住民、関係者が参加しました。訓練には、宜野湾市伊佐と北谷町北前の住民や両市町の防災、福祉、消防担当の職員、警察、社会福祉協議会など約70名が参加し、北前ゲートからリージョングートまでの避難経路を約30分間かけて歩行し、津波が発生した場合の避難経路となる順路を確かめると共に課題等を確認しました。

キャンプロオスターにおいて

津波避難訓練を行いました!



▲訓練後、参加者からは避難経路について様々な質問が出ました。

▶参加者は基地内を実際に歩き、避難経路を確認しました。



問合せ: 市民防災室 ☎893-4411 (内線319)